



KAKEHASHI プロジェクト（派遣プログラム） （派遣国：米国、一般派遣第2陣（大学生・大学院生））の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、米国へ大学生 212 名が派遣され、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 3 月 8 日から 3 月 15 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

早稲田大学 25 名、同志社大学 26 名、慶應義塾大学 13 名、上智大学 14 名、立命館大学 14 名、筑波大学 14 名、豊橋技術科学大学 26 名、東北大学 26 名、島根大学 13 名、安田女子大学 13 名、秋田大学 14 名、高知大学 14 名

3. 訪問地

米国（サンフランシスコ 106 名、シアトル 106 名）

4. 日程

A. サンフランシスコグループ

- 3 月 8 日（火） 成田国際空港より出国、サンフランシスコ着
【市内視察】 Lincoln Park Golden Gate Bridge Ghirardelli Square
- 3 月 9 日（水） 【訪問】 在サンフランシスコ日本国総領事館
【日系企業講義・視察】 NEW PEOPLE, SMART NEWS, SALAD COSMO
【学校訪問】 UC Davis、サンフランシスコ大学
- 3 月 10 日（木）【視察】 コンピュータ歴史博物館、Tanimura & Antle(Group 1)
【学校交流①】 カリフォルニア州立大学サンホゼ校/モントレーベイ校
- 3 月 11 日（金）【視察】 コンピュータ歴史博物館、Tanimura & Antle (Group 2)
【学校交流②】 ノースサリナス高等学校 アリサッル高等学校、スタンフォード大学
- 3 月 12 日（土）【歴史文化視察・体験】 Mission 地区の壁画、ファーマーズマーケット
【ワークショップ】
- 3 月 13 日（日）【報告会（成果・帰国後活動計画発表）】
【市内視察】 アメリカの小売業者視察（Wholefoods Safeway） Pier39

3月14日（月）サンフランシスコ発

3月15日（日）成田国際空港 帰国

B. シアトルグループ

3月8日（火）成田国際空港より出国、シアトル着

【市内視察】 Government Lock, Pike Place Market & 1st Starbucks store, Safeco Field and team store

3月9日（水）【訪問】在シアトル日本国総領事館

【社会福祉活動視察】ビル&メリンダ・ゲイツ基金、Wing Luke 博物館

3月10日（木）【訪問】ワシントン州議会訪問

【学校交流①】エバークグリーン州立カレッジ、ワシントン大学、

3月11日（金）【学校交流②】ウイングルーク小学校、シアトル大学、

South Puget Sound Community College、Griffin 小学校

3月12日（土）【企業視察】ボーイング工場（Group 1）

日米協会による東日本大震災の追悼式典参列（Group2）

【講義】日系米国人の歴史 Densho

【ワークショップ】

3月13日（日）【報告会（成果・帰国後活動計画発表）】

【市内視察】Uwajimaya（日系スーパーマーケット）（Group1）

【企業視察】ボーイング工場（Group2）

3月14日（月）シアトル発

3月15日（火）成田国際空港 帰国

5. KAKEHASHI プログラム記録写真 米国派遣第2陣の記録 サンフランシスコグループ



3/9 【訪問】サンフランシスコ総領事館表敬



3/9 【日系企業講義・視察】日系企業視察: Salad Cosmo 社



3/9 【学校訪問】夕食交流：カリフォルニア州立大学デービス校



3/11 【学校交流】ノースサリナス高校



3/11 【学校交流】スタンフォード大学



3/13 【報告会】

シアトルグループ



3/8 【市内視察】シアトル市内視察



3/9 【訪問】在シアトル日本国総領事館表敬訪問



3/9 【視察】 Wing Luke Museum



3/9 【社会福祉活動視察】ビル&メリнда・ゲイツ財団



3/10 【訪問】ワシントン州議事堂視察



3/10 【学校交流】ワシントン大学



3/11 【学校交流】South Puget Sound Community College



3/12 【企業視察】ボーイング・エベレット工場視察

6. 参加者の感想

◆大学生(サンフランシスコ)

現地の方々の「日本」のイメージが、予想するもの（自分達で誇りにするもの）と全く違ったということです。私は日本のアピールポイントとして、いわゆる日本文化、武士や江戸時代、和の精神などを考えており、またアメリカの方々もそれを「日本」のイメージとして持っているのかなと思っていました。しかし実際は主にサブカルチャー（原宿ファッション、アニメ、マンガ）

や和食（寿司、丼、おにぎり、ラーメン）などといったものが現地の人々の「日本」のイメージであり、また興味の対象でした。自国（日本）の人々と他国（ここではアメリカ）の人々とは「日本」のイメージに差があり、ここにズレを感じたとともに、このズレ（実際のニーズ）を私たち日本人は認識し、より効果的な「日本」のアピール戦略を考え実行していく必要性を実感しました。

◆大学生(サンフランシスコ)

日本が多くの人々に支持されている国であることを認識できたことです。大学でのプレゼンテーションで東日本大震災のその後について発表した後、台湾からの留学生から「台湾の大地震でたくさんの援助をしていただいております。」という言葉をしていただき、日本を支持する人々が国境を越えた先にいることを知りました。

帰国後に伝えていきたいことは、世界における日本の正しい立場です。それを認識することで、日本人が日本についてより深く知ることができ、他国の人々を対象に日本の良さを強みにして更なる魅力発信ができますし、欠点に関しては他国から必要な分野における支援を求めることができます。例えば、日本の美的センスを武器にファッション事業を展開する、日本が一步踏み出すことができなかった技術システムを他国の助言をもとに日本に取り入れることなどができます。

◆大学生(サンフランシスコ)

まず日本とカリフォルニア州の関係における歴史的背景について、明治の農地改革が日本人の移民を生み出し彼らの戦前からの活躍がアメリカの多様性と寛容な精神と合わせて現在のカリフォルニアの親日や日本文化の浸透につながっているという事実が印象に残っています。今後の日本の魅力発信では、カリフォルニア州の親日家や日本についてある程度知識のある人々には、ステレオタイプ以上の内容の充実度を図り、一般の人々にも和食文化などを通じて、段階的に日本のことを好きになってもらう必要があると思いました。特にカリフォルニアは日本とのつながりが他の州と比べて深く、このような地域ごとの特色を日本の文化発信に活かしていくことがより効果的であるのではないのでしょうか。

また、今回の訪問では大学内、他大学との学年・学部の壁を超えた活発な交流を通じて多くの優秀な学生たちから自分自身が大きな刺激を受けることができ、国際交流の分野にとどまることなく、各々の専門分野や将来的なキャリアにわたって連携し、日本の発展や国際的な地位の向上に貢献していける人材として成長していきたいという思いを新たにし、この交友関係を続けていきたいと思っています。最後にこのプログラムが今後も発展、継続されていくことを期待しています。数多くの学生を世界へ送り出すことで、日本の魅力発信に大きな成果をもたらしていけます。今回の貴重な経験を共有・発信して行きたいと思っています。

◆大学生(シアトル)

今回の訪問を通じて最も印象に残ったことは日本について知りたいと考えているアメリカの人たちが多くいるということです。自分たちが作成した日本についてのスライドに大きな興味を持ってくださいました。また一方的なスライドによる紹介よりもけん玉や着付けなどの一緒に体験できるようなものに対して、子供、大人、学生、年齢などを問わずに大きな興味を持ってくれたのにも感動しました。ワシントン大と自分たちの大学の規模の違い、州議事堂、システムの違い

などは日本に帰っても周りに発信していきたいと考えています。今後もこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。また作成したアクションプランについても積極的に参加していきたいと思っています。

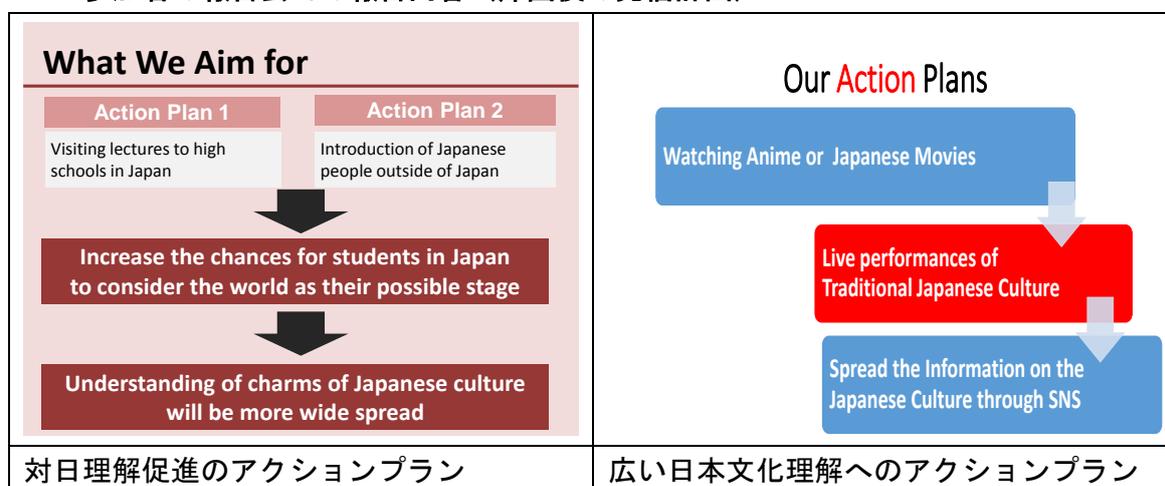
◆大学生(シアトル)

今回の訪問では、日本・秋田の魅力を伝えようと様々な準備をしまして、そういう意気込みで臨みました。大学などの学校訪問を通じ、プレゼンや現地学生との交流で魅力や良いところを伝えたいと思います。しかし、報告会でこんなコメントを頂きました。「日本の長所、魅力を伝えること、本当の日本の文化（欧米の日本食は実際のものとは違ったりすることを受け）を伝えることも重要だが、現地で変化をして受け入れられている事実や理由も考えてみるべきだ。」というお言葉でした。私は魅力を伝えようとするばかりで、「現地で受け入れられている文化は間違っているから正しい文化を伝えたい」と視野を狭くし、現地の方の日本への親しみを無下にすることから始まることに改めて気付きました。今回、現地で仲良くなった学生と交流を続け、アクションプランの実行を通じ、多くの方と日本・アメリカについて知っていきます。

◆大学生(シアトル)

今回の訪問に際して、私たちの大学では今まで知られてなかった地方の魅力と新しい日本の側面を紹介することをテーマに取り組んできました。実際のプレゼンテーションを通じて、アメリカの学生や教員の方々が興味をもってくれたことが実感でき、とても貴重な時間を手に入れられたと感じています。個人的に最も印象に残ったことは、自分たちが発表を準備していた時には気がつかなかった更なる魅力をアメリカの方々から教えていただいたことです。このように一方的な情報の発信ではなく、相互の情報交換を行うことで、交流がより有益なものになると思いました。帰国後は、自分たちが実際にシアトルに滞在したからこそ分かる現地の情報や学生の反応を持続的に発信していきたいです。自分たちが知らなかったことを伝えるという発表のテーマにもあったように、日本の学生にもシアトルという1つの地域にフォーカスした発信を心がけたいです。

7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）



<h2 style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">Background</h2> <ul style="list-style-type: none"> • What we found through exchange programs ① Difference in foreign language education between Japan and America <ul style="list-style-type: none"> ex) times the classes are held, practical English ② necessity of globalization for all schools (from elementary schools to universities.) 	<h2 style="color: #990033;">2. Action</h2> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid #990033; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="background-color: #990033; color: white; padding: 2px; font-size: small;">For Japanese students</p> <ul style="list-style-type: none"> • Encourage high school students studying abroad • Addressing what the foreign students like about Japan </div> <div style="border: 1px solid #990033; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="background-color: #990033; color: white; padding: 2px; font-size: small;">For exchange students</p> <ul style="list-style-type: none"> • Giving the presentation about Japanese attractive points • Translating to various languages </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p style="background-color: #990033; color: white; padding: 2px; font-size: small;">In Sophia</p> <ul style="list-style-type: none"> • Establish an organization to enhance the activity of KAKEHASHI </div>				
<p>アクションプランの背景</p>	<p>多言語にアクセスするアクションプラン</p>				
<h2 style="text-align: center;">Conclusion</h2> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p>Gender equality</p> <p>Seminar with foreign students</p> </td> <td style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> <p>Honorific expression</p> <p>Making movies</p> </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;"> <p>Japanese Technologies</p> <p>Introducing to the world</p> </td> <td style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> <p>Food</p> <p>More "food and nutrition education"</p> </td> </tr> </table>	<p>Gender equality</p> <p>Seminar with foreign students</p>	<p>Honorific expression</p> <p>Making movies</p>	<p>Japanese Technologies</p> <p>Introducing to the world</p>	<p>Food</p> <p>More "food and nutrition education"</p>	<div style="background-color: #e6f2ff; padding: 10px; border: 1px solid #990033;"> <h3 style="text-align: center; color: #990033;">JJF license</h3> <p style="text-align: center;">We are going to make Japanese-Japanese Food license.</p> <p style="font-size: small; text-align: center;">*Japanese-Japanese as opposed to American-Japanese, or other non-traditional interpretations of Japanese cuisine JJF license is the certification traditional Japanese food.</p> <p style="text-align: center; color: #003366;">↓</p> <p style="text-align: center;">Traditional Japanese Foods (Washoku) are accurately Established!! We are going to contact with restaurants, Japanese hotels, the Ministry of Agriculture and so on.</p> </div>
<p>Gender equality</p> <p>Seminar with foreign students</p>	<p>Honorific expression</p> <p>Making movies</p>				
<p>Japanese Technologies</p> <p>Introducing to the world</p>	<p>Food</p> <p>More "food and nutrition education"</p>				
<p>気づきと今後の活動</p>	<p>和食の魅力を発信 海外で変化している日本食について理解</p>				
<div style="background-color: #c6e0b4; padding: 10px; border: 1px solid #990033;"> <h3 style="background-color: white; padding: 2px;">Issues</h3> <ul style="list-style-type: none"> Cultural diversity seems to be overlooked by Japanese in Japan. Reality of Japan has been stereotyped. <h3 style="background-color: white; padding: 2px;">Purposes of Tsukuba Action Plan</h3> <p>To deepen the understanding of one another.</p> <ul style="list-style-type: none"> Help Japanese better understand the diversity of Japan. Increase the understanding of "real" Japan. <h3 style="background-color: white; padding: 2px;">Outcome</h3> <p>To promote the diversity of the world without conflict or violence.</p> </div>	<h2 style="color: #990033;">Why?</h2> <p>San Francisco here we come! but few people in the U.S. even know annual Japanese events and food</p> <h2 style="color: #990033;">To Whom?</h2> <p>People who are not interested in Japanese cultures</p>				
<p>「筑波に泊まろう」アクションプラン</p>	<p>情報発信を誰になぜするのか。</p>				